



すっかり秋めいてきました！



「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、このところ陽が沈むのが一気に早くなってきました。つい先日まで、30度近い厳しい暑さが続いていたのがうそのように、朝夕は涼しくなり、すっかり秋めいてきました。暦の

関係で、先週は5連休（シルバーウィーク）があったので、今年の9月は、余計に「あという間」に終わってしまったように感じます。

さて、「〇〇の秋」と言えば…〇〇に何が入りますか？ 秋を迎えると、「〇〇の秋」という言葉で「〇〇」に入る言葉は何ですか？こんな問題がクイズ番組でもよく出題されます。ネットで検索したところ、あるアンケート結果のランキングが載っていたので紹介します。

①位は「食欲の秋」 ②位は「紅葉の秋」 ③位は「読書の秋」 ④位は「実りの秋」

⑤位は「芸術の秋」 ⑥位は「スポーツの秋」 ⑦位は「睡眠の秋」 だそうです。

高甫小学校の子どもたちは本を読むことが好きな人が多いです。先日もたくさんの人に「読書チャレンジ」の認定証を渡しました。「読書の秋」…秋の夜長を利用して、ぜひ、たくさん本を読んでみましょう！



校長講話

9月24日（木）の朝に校長講話がありました。今回も絵本の読み聞かせをしました。

今回、読んだ絵本は「バスが来ましたよ」というお話です。



この絵本は実際にあったお話をもとに作られました。市役所に勤めていた山崎さんは、病気が原因で、だんだん視力が落ちていき、やがて全盲になってしまいました。それでも勤めは続けたいと、数年かけて一人でバスに乗って通勤する練習をしました。そしていよいよ一人でバスに乗ることが始った数日後、山崎さんに「バスが来ましたよ」と声をかけ、通勤を支えてくれる女の子が現れます。同

じバス停で降りる小学3年生のさきちゃんという子です。それから毎日、二人で同じバス停まで行くようになりました。そして、その声かけはさきちゃんが中学校に進学した後、二人の姉妹に、そして一緒にいた友だちに引き継がれていき、10年後に山崎さんは定年を迎えることができました。

「人にやさしくする」ってどういうことなのか…ちょっと考えてほしいという思いで読みました。

シャッフル道徳の取組

高甫小学校では、いろんな先生が子どもたちと関わっていく活動の一つとして、年2回、学級担任以外の先生が道徳の授業を行う「シャッフル道徳」を行っています。担当する学年は「くじ引き」で決めました！ 9月16日（水）に第1回目が行われました。1～3年の内容は以下の通りです。

【1年】授業者…齊藤 武 先生（教頭） 教材「かぼちゃのつる」

まずは、クラス全員で、かぼちゃがつるを伸ばす時のうれしい気持ちについて、具体物を使って共有した。そして、周りの注意を聞かずに自分の思い通りに振る舞うかぼちゃの姿を通して、わがままをすると自分も周りも嫌な思いをすることに気づき、良いこと・悪いことを考えて節度ある行動をする大切さを考えてみた。



【2年】授業者…丸山 葵 先生（愛組担任） 教材「さるへいと立てふだ」

けちで食いしん坊のさるへいは、赤くなってきた柿の木の根元に「これはしぶがき」「この持ち主はさるへい」と嘘を書いた立てふだを置く。しかし、書き足す度に「うそを書いてはいけません」「ほしい方は遠慮なく食べてください」と誰かに書き足されてしまう。そこへやってきた猿たちに「ごちそうになるよ」と言われたさるへいは「どっさり食べてくれたまえ」と応えた。そのときのさるへいの気持ちと自分だったらどうしたかを考えた。

【3年】授業者…市川 武史 先生（5年担任）

テーマ「上手な自己紹介ができるようになろう。～自己紹介ゲームを通して～」

「人生で一番行うスピーチは？」という問いかけから「自己紹介」に目を向けた子どもたち。そこから「上手な自己紹介ができると良いことがありそう」という気づきが生まれ、上手な自己紹介を目指して「自己紹介ゲーム」を行った。友だちを知ること、または興味をもってもらうことの喜びや良さを体感する活動を行った。

（※4～6年生の内容は次号で紹介します。）

ボーカルアンサンブル部—SBC コンクール出場！

9月27日（日）に、長野市芸術館において「SBC こども音楽コンクール」が行われ、事前のテープ審査を通過した本校のボーカルアンサンブル部が出場しました。これまで練習を重ねてきた「同声合唱曲集ひかる地球より『鬼は内』」をステージ上で堂々と歌い、きれいなハーモニーを響かせてくれました。その頑張りに対して「かんてんぱぱ賞」をいただきました！

